

洲本市子ども・子育て支援事業計画 主な事業の実施状況

1 幼児期の教育・保育

【実施状況】

	計画（H27年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用児童数(概数) (H27.5.1時点)	計画(確保方策) との差
1号認定	340人	340人 (確認を受けない幼稚園179人含む)	324人 (確認を受けない幼稚園153人含む)	▲16人
2号認定 (※1)	557人	557人	708人	151人
3号認定 (※1)	351人	351人	291人	▲60人

(※1) 2・3号認定は、4月1日時点の認定区分での利用児童数を記載しています。

【今後の方向性】

平成27年5月1日現在の状況は「1,323人」で、平成27年度の量の見込み「1,248人」を上回る結果となっていますが、平成27年度において充足しており、今年度も待機児童は発生していません。

2 時間外保育事業（延長保育事業）

【実施状況】

	計画（H27年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	142人	142人	延べ100人(※)	—

(※)平成27年度の見込み数を記載しています。

【今後の方向性】

平成27年度1月末までの実績は「100人」で、平成27年度の量の見込み「142人」を下回る結果となっている。在園児を対象にした事業であり、平成27年度の確保方策において充足している状況である。引き続き多様な就労形態の保護者ニーズに対応するため、公立保育所7カ所と民間保育所3カ所において、通常の保育時間を超えた保育の提供ができる体制をつくります。

3 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【実施状況】（平成27年4月～平成28年1月末）

	計画（H27年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
登録児童数	432人	432人	331人	—

【今後の方向性】

平成28年度からは、学校の余裕スペースを活用することにより、休止している中川原小学校区の児童クラブについて、定員20名で再開させます。定員の弾力的な運用により、量の見込みについては概ね確保しているものの、定員超過が発生している児童クラブについては、受け入れできる環境づくりを進めます。また、児童の安全な保育環境を図る観点からも、児童クラブ実施施設については、小学校の余裕教室等の活用などを一層促進させるため、市長部局と教育委員会とで施設利用に係る連携協定を提携し、高学年までの受け入れできる環境づくりの拡充を図ります。

4 子育て短期支援事業（ショートステイ）

【実施状況】（平成27年4月～平成28年1月末）

	計画（H27年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間延べ 利用人数	10人日	10人日	0人	—

【今後の方向性】

平成27年度より本事業の実施を開始していますが、平成27年度の利用は、1月末現在で利用がなく平成27年度の量の見込み（10人日）を下回っており、確保の方策においても充足している状況である。

引き続き、保護者の疾病等の理由により養育を受けることが一時的に困難となった児童について支援の強化に努める。

5 地域子育て支援拠点事業

【実施状況】（平成27年4月～平成28年1月末）

計画（H27年度）		実施状況	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
4,655人回	0箇所	0箇所	—

【今後の方向性】

地域子育て支援拠点事業については現在実施していませんが、市内に設置している児童館や子育て学習センター等の地域資源を有効に活用し、提供体制に努めています。今後、子育て学習センター所管課と調整をし、さらにより多くの利用につながるよう内容の充実に取り組みます。

6 一時預かり事業

【実施状況】

	計画（H27年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間延べ 利用人数	19,492人	19,492人	8,200人（※）	—

（※）年度末に集計を行うため、平成27年度の見込み数を記載しています。
私立幼稚園7,500人 公立保育所(2か所300人) 民間保育所(2か所400人)
合計見込み8,200人

【今後の方向性】

現状での受け入れで概ね対応できていることから、引き続き、保育所での一時預かりを公立保育所2か所・平成28年度より大野保育所を加えて民間保育所3か所の保育所で実施します。平成27年度の見込み数は「8,200人」（内「7,500人」は在園児を対象にした預かり保育）で、平成27年度の量の見込み「19,492人」を大幅に下回る結果となっており、平成27年度の確保方策において充足している状況である。

7 病児・病後児保育事業

【実施状況】

計画（H27 年度）		実施状況	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
312 人日	0 人日	0 箇所	—

【今後の方向性】

現在、病児・病後児保育事業については、実施できておりません。島内3市で、継続して実施手法等も含め協議を重ねておりますが、具体化には至っておりません。

8 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

【実施状況】

計画（H27 年度）		実施状況	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
144 人日	0 人日	0 箇所	—

【今後の方向性】

ファミリーサポートセンター事業については、現在実施していません。ニーズについては、一時預かり事業（0～5歳）、放課後児童クラブ等で確保できていると考えますが、公的サービスでは対応が難しいニーズに応える大切な事業であると位置づけ、事業発足に向けた準備を行い、開設を目指します。

9 利用者支援事業

【実施状況】（平成 28 年 1 月末時点）

計画（H27 年度）		実施状況	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
1 箇所	1 箇所	0 箇所	▲ 1 箇所

【今後の方向性】

現在、利用者支援事業については、実施できておりませんが、現在、情報提供や相談業務や関係機関との連絡調整は市役所窓口で行っています。新庁舎の整備に合わせて、利用者支援事業の実施について検討します。

10 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

【実施状況】（平成27年4月～平成28年1月末）

	計画（H27 年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	302 人	302 人	218 人	
実施体制	—	実施体制： 保健師・助産師・家庭児童相談員により 対象家庭を訪問	確保方策の記載 内容にて実施	—

【今後の方向性】

引き続き、全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い育児に関する不安の解消を目指す。

11 養育支援訪問事業

【実施状況】（平成27年4月～平成28年1月末）

	計画（H27年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	4人	4人	2人	—
実施体制	—	実施体制： 2人の訪問員により 対象家庭を訪問	確保方策の 記載内容にて 実施	—

【今後の方向性】

量の見込み数に関わらず、要保護児童等に対する支援のために要保護児童対策協議会における関係機関との連携強化に努めるとともに、支援が特に必要な対象者の家庭に対しヘルパー等を派遣し、引き続き育児不安の解消に努め、さらに相談技術のスキルアップを図っていきます。

12 妊婦健康診査

【実施状況】 (平成27年4月～平成28年1月末)

	計画 (H27 年度)		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間受診延べ人数	381 人	381 人	310 人	—
実施体制	—	<ul style="list-style-type: none">・手 法 : 助成券交付・実施機関 : 兵庫県内妊婦健康診査協力医療機関 (協力医療機関以外で受診された場合償還払いで対応可)・基本的な妊婦健康診査・その他の妊婦健康診査にかかる検査	確保方策の記載内容にて実施	—

【今後の方向性】

引き続き、妊婦がより健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えるために、妊娠健康診査が重要であることから、積極的な受診を促進するために健診費用の一部を公費で負担します。